

令和2年度決算説明資料

目次

I 令和2年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要	2P
② 令和元年度決算との比較（病院別）	3P

II 令和2年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について	8P
3 安佐市民病院の建替えについて	9P
4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況	9P
5 留保資金の状況	9P

資料編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況	11P
(2) 収入の状況	12P
(3) 支出の状況	17P

I 令和2年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

令和2年度収支決算は、収入合計602.1億円に対し、支出合計は583.4億円で、差引損益は18.7億円の黒字となった。

これにより、前期までの繰越欠損金3.9億円から、14.8億円の利益剰余金となった。

(表1) 令和2年度収支決算

単位:億円

区分		合計 一般 1,482床 精神 28床 感染症 16床 計 1,526床	病院別			
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 527床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名
収入	入院収入	343.8	199.7	116.6	12.6	14.9
	外来収入	154.0	96.9	49.1	7.2	0.8
	計	497.8	296.6	165.7	19.8	15.7
	その他	9.4	6.0	1.8	1.4	0.2
	小計	507.2	302.6	167.5	21.2	15.9
	運営費負担金・交付金	46.5	23.7	6.4	8.4	8.0
	その他収入	48.4	10.6	18.5	18.1	1.2
	合計	602.1	336.9	192.4	47.7	25.1
支出	給与費	295.3	157.8	94.7	24.6	18.2
	材料費	171.0	109.7	55.8	5.0	0.5
	経費	72.0	37.5	21.2	8.6	4.7
	減価償却費	38.3	23.6	9.3	3.2	2.2
	その他	6.8	4.6	0.9	0.8	0.5
	合計	583.4	333.2	181.9	42.2	26.1
差引損益		18.7	3.7	10.5	5.5	▲ 1.0

※ 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。

(按分比広島47.6%、安佐25.7%、舟入15%、リハ11.7%)

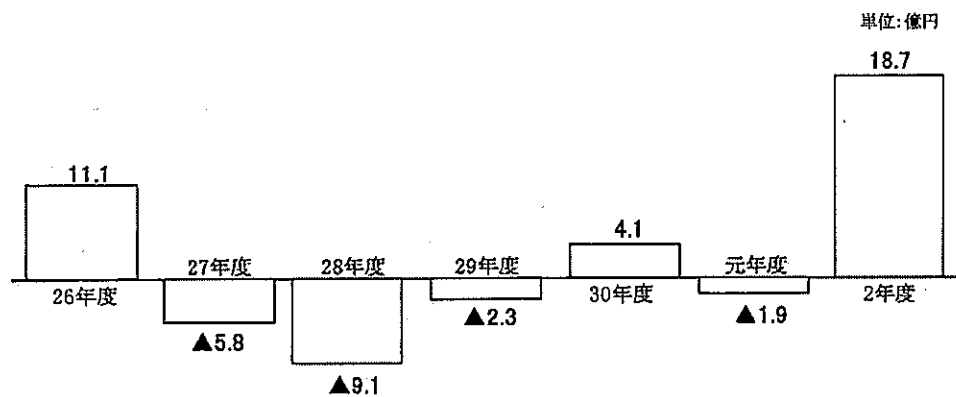
(2) 収支の推移

① 概要

法人化初年度の平成 26 年度は黒字であったが、その後収支が悪化し、28 年度は機構全体で▲9.1 億円の赤字を計上した。このため、職員一丸となって一層の経営改善に取り組んだ結果、収支改善が図られ、30 年度は 4.1 億円の黒字を計上したものの、元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により赤字となった。

2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来収入が減となったが、経費の節減や新型コロナウイルス感染症に係る補助金により 18.7 億円の黒字を計上した。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	5.6	▲4.3	▲5.3	▲4.2	0.7	▲3.2	3.7
安佐市民病院	5.8	0.0	▲3.7	1.0	2.6	1.6	10.5
舟入市民病院	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6	1.0	5.5
リハビリテーション病院	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5	▲0.8	▲1.3	▲1.0
計	11.1	▲5.8	▲9.1	▲2.3	4.1	▲1.9	18.7

② 令和元年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減により、入院収入は▲12.2億円、外来収入は▲6.3億円減少した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の増などにより6.9億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲7億円減少した。

一方、支出については、給与費は時間外勤務手当の減などにより▲3.7億円減少し、材料費は医業収益の減などにより▲6.7億円減少した。また、減価償却費はハイブリッド手術室血管造影検査・治療システムの償却期間終了などにより▲1.9億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ▲13.9億円減少した。

その結果、差引損益は前年度に比べ6.9億円増加し、3.7億円の黒字となった。

(表3) 収支の推移

単位:億円

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
収入	入院収入	202.8	209.0	211.9	199.7
	対前年度増減	-	6.2	2.9	▲12.2
	外来収入	90.3	97.3	103.2	96.9
	対前年度増減	-	7.0	5.9	▲6.3
	小計	293.1	306.3	315.1	296.6
	対前年度増減	-	13.2	8.8	▲18.5
	その他	5.2	5.8	6.5	6.0
	対前年度増減	-	0.6	0.7	▲0.5
	計	298.3	312.1	321.6	302.6
	運営費負担金・交付金	18.5	19.4	18.6	23.7
対前年度増減	-	0.9	▲0.8	5.1	
その他収入	3.6	4.0	3.7	10.6	
対前年度増減	-	0.4	▲0.3	6.9	
合計	320.4	335.5	343.9	336.9	
対前年度増減	-	15.1	8.4	▲7.0	
支出	給与費	155.6	157.8	161.5	157.8
	対前年度増減	-	2.2	3.7	▲3.7
	材料費	103.8	108.4	116.4	109.7
	対前年度増減	-	4.6	8.0	▲6.7
	経費	35.0	36.8	38.2	37.5
	対前年度増減	-	1.8	1.4	▲0.7
	減価償却費	24.6	25.6	25.5	23.6
	対前年度増減	-	1.0	▲0.1	▲1.9
	その他	5.6	6.2	5.5	4.6
	対前年度増減	-	0.6	▲0.7	▲0.9
合計	324.6	334.8	347.1	333.2	
対前年度増減	-	10.2	12.3	▲13.9	
差引損益	▲4.2	0.7	▲3.2	3.7	
対前年度増減	-	4.9	▲3.9	6.9	

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他収入」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(イ) 安佐市民病院

収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減などにより、入院収入は▲7.1億円、外来収入は▲1.2億円減少した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の増などにより16.6億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ7.5億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより0.6億円増加し、経費は医療機器等修繕費の減などにより▲0.2億円減少した。また、減価償却費は磁気共鳴断層撮影装置の償却期間終了などにより▲1.9億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ▲1.4億円減少した。

その結果、差引損益は前年度に比べ8.9億円増加し、10.5億円の黒字となった。

(表4) 収支の推移

単位:億円

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
収入	入院収入	117.7	121.5	123.7	116.6
	対前年度増減	-	3.8	2.2	▲7.1
	外来収入	45.0	45.8	50.3	49.1
	対前年度増減	-	0.8	4.5	▲1.2
	小計	162.7	167.3	174.0	165.7
	対前年度増減	-	4.6	6.7	▲8.3
	その他	2.1	2.1	2.1	1.8
	対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.3
	計	164.8	169.4	176.1	167.5
	運営費負担金・交付金	8.5	7.1	6.9	6.4
	対前年度増減	-	▲1.4	▲0.2	▲0.5
	その他収入	1.7	2.0	1.9	18.5
対前年度増減	-	0.3	▲0.1	16.6	
合計	175.0	178.5	184.9	192.4	
対前年度増減	-	3.5	6.4	7.5	
支出	給与費	90.4	92.1	94.1	94.7
	対前年度増減	-	1.7	2.0	0.6
	材料費	49.8	50.4	55.7	55.8
	対前年度増減	-	0.6	5.3	0.1
	経費	20.8	20.2	21.4	21.2
	対前年度増減	-	▲0.6	1.2	▲0.2
	減価償却費	12.1	11.7	11.2	9.3
	対前年度増減	-	▲0.4	▲0.5	▲1.9
	その他	0.9	1.5	0.9	0.9
	対前年度増減	-	0.6	▲0.6	0.0
合計	174.0	175.9	183.3	181.9	
対前年度増減	-	1.9	7.4	▲1.4	
差引損益		1.0	2.6	1.6	10.5
対前年度増減		-	1.6	▲1.0	8.9

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他収入」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(ウ) 舟入市民病院

収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減により、入院収入は▲3.3億円、外来収入は▲4.7億円減少した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の増などにより17.1億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ3.4億円増加した。

一方、支出については、給与費は時間外勤務手当の減などにより▲0.1億円減少し、材料費は医業収益の減などにより▲0.3億円減少した。また、減価償却費は磁気共鳴断層撮影装置の償却期間終了などにより▲0.5億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ▲1.1億円減少した。

その結果、差引損益は前年度に比べ4.5億円増加し、5.5億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

単位:億円

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
収入	入院収入	15.4	16.7	15.9	12.6
	対前年度増減	-	1.3	▲0.8	▲3.3
	外来収入	11.6	12.1	11.9	7.2
	対前年度増減	-	0.5	▲0.2	▲4.7
	小計	27.0	28.8	27.8	19.8
	対前年度増減	-	1.8	▲1.0	▲8.0
	その他	2.0	2.2	2.2	1.4
	対前年度増減	-	0.2	0.0	▲0.8
	計	29.0	31.0	30.0	21.2
	運営費負担金・交付金	14.0	13.0	13.3	8.4
対前年度増減	-	▲1.0	0.3	▲4.9	
その他収入	1.1	1.1	1.0	18.1	
対前年度増減	-	0.0	▲0.1	17.1	
合計	44.1	45.1	44.3	47.7	
対前年度増減	-	1.0	▲0.8	3.4	
支出	給与費	24.2	24.5	24.7	24.6
	対前年度増減	-	0.3	0.2	▲0.1
	材料費	5.5	5.6	5.3	5.0
	対前年度増減	-	0.1	▲0.3	▲0.3
	経費	8.4	8.7	8.7	8.6
	対前年度増減	-	0.3	0.0	▲0.1
	減価償却費	3.5	3.6	3.7	3.2
	対前年度増減	-	0.1	0.1	▲0.5
	その他	1.1	1.1	0.9	0.8
	対前年度増減	-	0.0	▲0.2	▲0.1
合計	42.7	43.5	43.3	42.2	
対前年度増減	-	0.8	▲0.2	▲1.1	
差引損益		1.4	1.6	1.0	5.5
対前年度増減		-	0.2	▲0.6	4.5

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他収入」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(I) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減などにより、入院収入は▲1億円、外来収入は▲0.1億円減少した。また、運営費負担金・交付金は特殊医療（リハビリテーション）の増などにより1.1億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲0.2億円減少した。

一方、支出については、給与費は時間外勤務手当の減などにより▲0.3億円減少し、材料費は感染症対策に係る材料費の増などにより0.1億円増加した。また、経費は電気使用料の減などにより▲0.2億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ▲0.5億円減少した。

その結果、差引損益は前年度に比べ0.3億円増加し、▲1億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

単位:億円

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
収入	入院収入	15.9	15.8	15.9	14.9
	対前年度増減	-	▲0.1	0.1	▲1.0
	外来収入	0.7	0.8	0.9	0.8
	対前年度増減	-	0.1	0.1	▲0.1
	小計	16.6	16.6	16.8	15.7
	対前年度増減	-	0.0	0.2	▲1.1
	その他	0.3	0.3	0.3	0.2
	対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.1
	計	16.9	16.9	17.1	15.9
	運営費負担金・交付金	7.7	7.0	6.9	8.0
	対前年度増減	-	▲0.7	▲0.1	1.1
	その他収入	0.9	1.0	1.3	1.2
	対前年度増減	-	0.1	0.3	▲0.1
	合計	25.5	24.9	25.3	25.1
対前年度増減	-	▲0.6	0.4	▲0.2	
支出	給与費	18.0	17.8	18.5	18.2
	対前年度増減	-	▲0.2	0.7	▲0.3
	材料費	0.4	0.4	0.4	0.5
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
	経費	4.7	4.7	4.9	4.7
	対前年度増減	-	0.0	0.2	▲0.2
	減価償却費	2.2	2.2	2.2	2.2
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
	その他	0.7	0.6	0.6	0.5
	対前年度増減	-	▲0.1	0.0	▲0.1
合計	26.0	25.7	26.6	26.1	
対前年度増減	-	▲0.3	0.9	▲0.5	
差引損益		▲0.5	▲0.8	▲1.3	▲1.0
対前年度増減		-	▲0.3	▲0.5	0.3

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医療収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医療収益
- ② 収入の「その他収入」は、補助金等収益、寄附金収益、資産見返負債戻入、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

II 令和2年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況

(1) 固定資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費などにより155.2億円増加し、減価償却等により▲54.9億円減少したことから100.3億円増の604.6億円となった。

(2) 流動資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費に係る広島市からの長期借入金を3月中に借り入れたことなどにより現金預金が92.4億円、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などにより未収金が13億円増加し、全体としては106.2億円増の328.6億円となった。

(3) 固定負債

施設整備、医療機器購入や安佐市民病院の建替えに係る整備費の財源として、広島市から長期借入金を借り入れ142.3億円増加し、移行前地方債の償還などにより▲34.7億円減少したことから、全体としては109.3億円増の545.5億円となった。

(4) 流動負債

安佐市民病院の建替えに係る整備費の未払金の増加などにより77.6億円増の173.2億円となった。

(5) 資本金

広島市からの出資金193.9億円で、期首から増減はない。

(6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより0.9億円を計上し5.8億円となった。

(7) 利益剰余金

前年度からの繰越欠損金▲3.9億円に当期総利益18.7億円を合わせた14.8億円となった。

(表7) 貸借対照表(全体)

区 分		元年度末残高 A	2年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資 産				
固 定 資 産		504.3	<u>604.6</u>	<u>100.3</u>
流 動 資 産		222.4	<u>328.6</u>	<u>106.2</u>
現 金 預 金		119.5	211.9	<u>92.4</u>
未 収 金		100.7	113.7	<u>13.0</u>
そ の 他		2.2	3.0	0.8
合 計		726.7	933.2	206.5
負 債				
固 定 負 債		436.2	<u>545.5</u>	<u>109.3</u>
流 動 負 債		95.6	<u>173.2</u>	<u>77.6</u>
未 払 金		44.3	121.3	77.0
そ の 他 流 動 負 債		51.3	51.9	0.6
計		531.8	718.7	186.9
純 資 産				
資 本 金		193.9	<u>193.9</u>	0.0
設 立 団 体 出 資 金		193.9	193.9	0.0
資 本 剰 余 金		4.9	<u>5.8</u>	<u>0.9</u>
利 益 剰 余 金		<u>▲ 3.9</u>	<u>14.8</u>	<u>18.7</u>
計		194.9	214.5	19.6
合 計		726.7	933.2	206.5

2 施設整備・医療機器等購入について

(1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で平成30～令和3年度の4か年の事業費総額82.8億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

2年度の事業費は、予算の26.7億円に対し、決算は16.9億円となったが、工期・納期が令和3年度に及ぶため、翌年度へ事業費を繰越した8.2億円と合わせた合計事業費は、25.1億円で、執行残は1.6億円である。

(2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が中央棟水熱源ヒートポンプ型ファンコイルユニット改修工事外5.2億円、舟入市民病院が本館中型搬送設備改修工事外0.9億円、リハビリテーション病院がナースコール設備改修工事0.2億円の合計6.3億円を実施した。

(3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院が全身用マルチスライスCT装置外5.7億円、安佐市民病院が臨床検査管理システム外4億円、舟入市民病院が汎用人工呼吸器外0.5億円、リハビリテーション病院が全身用マルチスライスCT装置外0.4億円の合計10.6億円を購入した。

(表8) 令和2年度施設整備・医療機器等購入の内訳

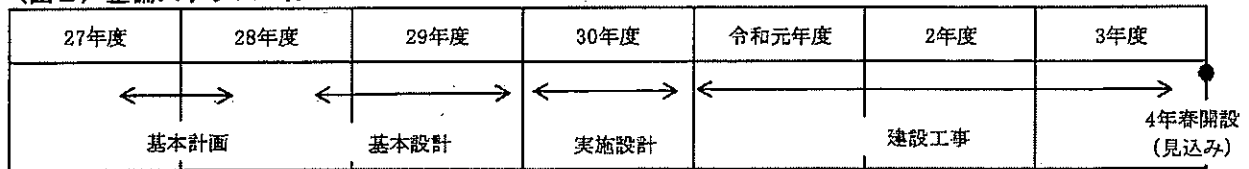
単位:億円

区分	2年度予算 ①	2年度決算 ②	3年度への 繰越③	合計 ④(②+③)	差引 ①-④	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	7.3	<u>5.2</u>	1.9	7.1	0.2	中央棟水熱源ヒートポンプ型ファンコイルユニット改修工事外
	医療機器等購入	11.4	<u>5.7</u>	4.5	10.2	1.2	全身用マルチスライスCT装置外
	計	18.7	10.9	6.4	17.3	1.4	
安佐市民病院	施設整備	-	-	-	0.0	0.0	
	医療機器等購入	5.0	<u>4.0</u>	1.0	5.0	0.0	臨床検査システム外
	計	5.0	4.0	1.0	5.0	0.0	
舟入市民病院	施設整備	1.7	<u>0.9</u>	0.8	1.7	0.0	本館中型搬送設備改修工事外
	医療機器等購入	0.7	<u>0.5</u>	0.0	0.5	0.2	汎用人工呼吸器外
	計	2.4	1.4	0.8	2.2	0.2	
リハビリテーション病院	施設整備	0.2	<u>0.2</u>	-	0.2	0.0	ナースコール設備改修工事
	医療機器等購入	0.4	<u>0.4</u>	-	0.4	0.0	全身用マルチスライスCT装置外
	計	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	
合計	施設整備	9.2	<u>6.3</u>	2.7	9.0	0.2	
	医療機器等購入	17.5	<u>10.6</u>	5.5	16.1	1.4	
	計	<u>26.7</u>	<u>16.9</u>	<u>8.2</u>	<u>25.1</u>	<u>1.6</u>	

3 安佐市民病院の建替えについて

荒下地区に整備する病院について、整備費 312.7 億円のうち 2 年度決算額は 122.5 億円で、建設工事を行った。

(図2) 整備スケジュール



(表9) 整備費の内訳

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	合計	
基本計画	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	
建替 整備 費	基本設計	-	1.3	-	-	-	-	1.3	
	工事監理等	-	0.5	0.4	1.4	1.1	5.8	0.1	9.3
	実施設計	-	-	3.1	-	0.1	-	-	3.2
	建設費	-	-	-	11.6	121.3	67.0	6.3	206.2
	土地購入費	-	-	-	9.7	-	9.5	-	19.2
	医療機器購入費	-	-	-	-	-	7.4	65.9	73.3
	-	1.8	3.5	22.7	122.5	89.7	72.3	312.5	
合計	0.2	1.8	3.5	22.7	122.5	89.7	72.3	312.7	

4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況

企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金については、2 年度中に安佐市民病院の建替えに係る整備費を含み 142.3 億円借入れ、35.4 億円の償還を行ったため、2 年度末の残高は 431.8 億円となり、元年度末残高から 106.9 億円増加した。

(表10) 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の推移

単位:億円

区分	元年度末残高 A	2年度中の借入・償還		2年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	195.0	6.5	18.8	182.7	▲ 12.3
安佐市民病院	36.8	134.0	6.2	164.6	127.8
舟入市民病院	40.5	1.3	6.6	35.2	▲ 5.3
リハビリテーション病院	52.6	0.5	3.8	49.3	▲ 3.3
合計	324.9	142.3	35.4	431.8	106.9

5 留保資金の状況

留保資金は、元年度末残高は 175.2 億円であったが、2 年度末残高は 203.2 億円となり、28 億円増加した。

(表11) 2 年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区分	元年度末残高 A	2年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	93.3	97.4	4.1
安佐市民病院	64.6	88.2	23.6
舟入市民病院	17.3	17.6	0.3
合計	175.2	203.2	28.0

資 料 編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位:億円

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
収入	入院収入	351.8	363.0	367.4	343.8
	対前年度増減	-	11.2	4.4	▲23.6
	外来収入	147.6	156.0	166.3	154.0
	対前年度増減	-	8.4	10.3	▲12.3
	小計	499.4	519.0	533.7	497.8
	対前年度増減	-	19.6	14.7	▲35.9
	その他	9.6	10.4	11.1	9.4
	対前年度増減	-	0.8	0.7	▲1.7
	計	509.0	529.4	544.8	507.2
	運営費負担金・交付金	48.7	46.5	45.7	46.5
	対前年度増減	-	▲2.2	▲0.8	0.8
	その他収入	7.3	8.1	7.9	48.4
	対前年度増減	-	0.8	▲0.2	40.5
合計	565.0	584.0	598.4	602.1	
対前年度増減	-	19.0	14.4	3.7	
支出	給与費	288.2	292.2	298.8	295.3
	対前年度増減	-	4.0	6.6	▲3.5
	材料費	159.5	164.8	177.8	171.0
	対前年度増減	-	5.3	13.0	▲6.8
	経費	68.9	70.4	73.2	72.0
	対前年度増減	-	1.5	2.8	▲1.2
	減価償却費	42.4	43.1	42.6	38.3
	対前年度増減	-	0.7	▲0.5	▲4.3
	その他	8.3	9.4	7.9	6.8
	対前年度増減	-	1.1	▲1.5	▲1.1
合計	567.3	579.9	600.3	583.4	
対前年度増減	-	12.6	20.4	▲16.9	
差引損益		▲2.3	4.1	▲1.9	18.7
対前年度増減		-	6.4	▲6.0	20.6

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他収入」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	202.8	209.0	211.9	199.7
対前年度増減	-	6.2	2.9	▲12.2
安佐市民病院	117.7	121.5	123.7	116.6
対前年度増減	-	3.8	2.2	▲7.1
舟入市民病院	15.4	16.7	15.9	12.6
対前年度増減	-	1.3	▲0.8	▲3.3
リハビリテーション病院	15.9	15.8	15.9	14.9
対前年度増減	-	▲0.1	0.1	▲1.0
計	351.8	363.0	367.4	343.8
対前年度増減	-	11.2	4.4	▲23.6

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	96.3	95.8	94.7	85.7
対前年度増減	-	▲0.5	▲1.1	▲9.0
安佐市民病院	88.5	87.9	87.7	72.7
対前年度増減	-	▲0.6	▲0.2	▲15.0
舟入市民病院	(76.1) 72.9	(76.8) 76.0	(73.4) 73.3	(51.0) 48.1
対前年度増減	-	(0.7) 3.1	(▲3.4) ▲2.7	(▲22.4) ▲25.2
リハビリテーション病院	95.1	94.4	95.3	89.4
対前年度増減	-	▲0.7	0.9	▲5.9

※ 舟入市民病院の()の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	261,230	259,925	257,653	232,325
対前年度増減	-	▲1,305	▲2,272	▲25,328
安佐市民病院	170,206	169,152	169,152	139,825
対前年度増減	-	▲1,054	0	▲29,327
舟入市民病院	35,661	37,184	35,938	23,537
対前年度増減	-	1,523	▲1,246	▲12,401
リハビリテーション病院	34,710	34,467	34,877	32,639
対前年度増減	-	▲243	410	▲2,238
計	501,807	500,728	497,620	428,326
対前年度増減	-	▲1,079	▲3,108	▲69,294

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	20,748	20,605	21,317	19,050
対前年度増減	-	▲ 143	712	▲ 2,267
安佐市民病院	14,520	14,920	15,624	13,671
対前年度増減	-	400	704	▲ 1,953
舟入市民病院	3,727	4,216	4,178	2,823
対前年度増減	-	489	▲ 38	▲ 1,355
リハビリテーション病院	454	461	500	484
対前年度増減	-	7	39	▲ 16
計	39,449	40,202	41,619	36,028
対前年度増減	-	753	1,417	▲ 5,591

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	11.6	11.6	11.1	11.2
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.5	0.1
安佐市民病院	10.7	10.4	9.8	9.2
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6
舟入市民病院	8.6	7.9	7.6	7.5
対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.1
リハビリテーション病院	79.2	77.9	75.2	70.4
対前年度増減	-	▲ 1.3	▲ 2.7	▲ 4.8

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	77,648	80,399	82,249	85,975
対前年度増減	-	2,751	1,850	3,726
安佐市民病院	69,143	71,822	73,155	83,415
対前年度増減	-	2,679	1,333	10,260
舟入市民病院	43,149	44,904	44,353	53,361
対前年度増減	-	1,755	▲ 551	9,008
リハビリテーション病院	45,767	45,765	45,742	45,551
対前年度増減	-	▲ 2	▲ 23	▲ 191

(表8) 手術件数

単位:件

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	9,735	10,076	10,301	9,412
対前年度増減	-	341	225	▲ 889
安佐市民病院	5,828	5,811	6,174	5,602
対前年度増減	-	▲ 17	363	▲ 572
舟入市民病院	649	624	560	323
対前年度増減	-	▲ 25	▲ 64	▲ 237
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	16,212	16,511	17,035	15,337
対前年度増減	-	299	524	▲ 1,698

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	31,878	30,888	31,577	20,550
対前年度増減	-	▲ 990	689	▲ 11,027
安佐市民病院	11,066	11,572	11,348	9,916
対前年度増減	-	506	▲ 224	▲ 1,432
舟入市民病院	40,421	36,957	35,739	10,545
対前年度増減	-	▲ 3,464	▲ 1,218	▲ 25,194
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	83,365	79,417	78,664	41,011
対前年度増減	-	▲ 3,948	▲ 753	▲ 37,653

(表10) 外来収入

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	90.3	97.3	103.2	96.9
対前年度増減	-	7.0	5.9	▲ 6.3
安佐市民病院	45.0	45.8	50.3	49.1
対前年度増減	-	0.8	4.5	▲ 1.2
舟入市民病院	11.6	12.1	11.9	7.2
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.2	▲ 4.7
リハビリテーション病院	0.7	0.8	0.9	0.8
対前年度増減	-	0.1	0.1	▲ 0.1
計	147.6	156.0	166.3	154.0
対前年度増減	-	8.4	10.3	▲ 12.3

(表11) 外来患者数

単位:人

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	436,792	436,039	432,758	378,292
対前年度増減	-	▲ 753	▲ 3,281	▲ 54,466
安佐市民病院	196,552	193,273	192,530	175,199
対前年度増減	-	▲ 3,279	▲ 743	▲ 17,331
舟入市民病院	86,847	85,096	83,241	45,777
対前年度増減	-	▲ 1,751	▲ 1,855	▲ 37,464
リハビリテーション病院	4,908	5,263	5,367	4,894
対前年度増減	-	355	104	▲ 473
計	725,099	719,671	713,896	604,162
対前年度増減	-	▲ 5,428	▲ 5,775	▲ 109,734

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	20,671	22,325	23,834	25,622
対前年度増減	-	1,654	1,509	1,788
安佐市民病院	22,886	23,682	26,104	28,039
対前年度増減	-	796	2,422	1,935
舟入市民病院	13,422	14,205	14,348	15,830
対前年度増減	-	783	143	1,482
リハビリテーション病院	14,083	15,090	16,714	16,326
対前年度増減	-	1,007	1,624	▲ 388

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移(損益収支分)

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	18.5	19.4	18.6	23.7
対前年度増減	-	0.9	▲ 0.8	5.1
安佐市民病院	8.5	7.1	6.8	6.1
対前年度増減	-	▲ 1.4	▲ 0.3	▲ 0.7
舟入市民病院	14.0	13.0	13.3	8.4
対前年度増減	-	▲ 1.0	0.3	▲ 4.9
リハビリテーション病院	7.7	7.0	6.9	8.0
対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.1	1.1
計	48.7	46.5	45.6	46.2
対前年度増減	-	▲ 2.2	▲ 0.9	0.6

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移(資本収支分)

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.9	0.1	0.0	0.0
対前年度増減	-	▲ 0.8	▲ 0.1	0.0
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	2.1	1.3	1.2	1.2
対前年度増減	-	▲ 0.8	▲ 0.1	0.0

(表14) 2年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.0	0.2	0.2	0.5	2.1
2. 救急医療	13.6	11.9	1.7	-	-
3. 看護師養成	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
4. 特殊医療(リハビリテーション等)	4.3	0.1	1.2	-	3.0
5. 小児医療	1.3	-	0.2	1.1	-
6. 院内保育	0.7	0.3	0.4	-	-
7. 企業債利息償還金	1.9	1.0	0.1	0.5	0.3
8. 医師等の研究研修に要する経費	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0
9. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	0.0	-
10. 共済組合追加費用	1.0	0.6	0.3	0.1	-
11. 基礎年金拠出金公的負担経費	3.7	3.7	-	-	-
12. 退職手当(交付金)	0.5	-	-	0.5	-
13. 企業債元金償還金(ハ病院土地取得分を除く)	15.7	5.6	1.8	5.7	2.6
14. 退補職員人件費	0.1	-	0.1	-	-
計	46.2	23.7	6.1	8.4	8.0
15. 企業債元金償還金(ハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
16. 安佐市民病院建替整備分	0.0	-	0.0	-	-
計	1.2	-	0.0	-	1.2
合計	47.4	23.7	6.1	8.4	9.2

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
17. 安佐市民病院北館準備調整に係る経費	0.3	-	0.3	-	-

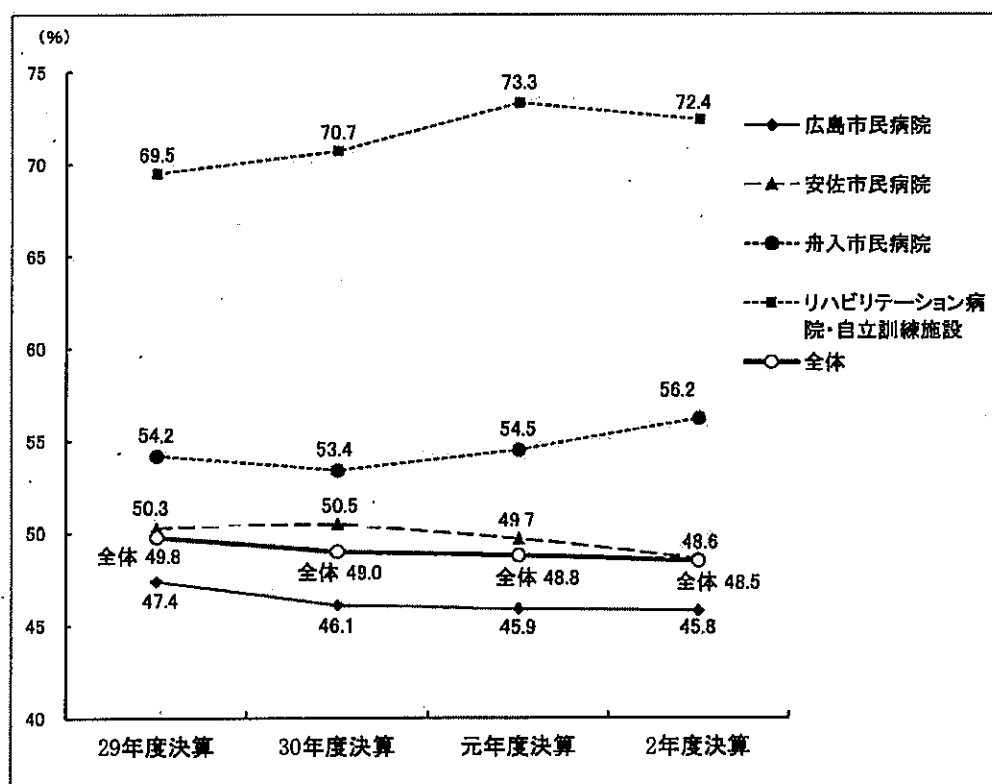
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	155.6	157.8	161.5	157.8
対前年度増減	-	2.2	3.7	▲ 3.7
安佐市民病院	90.4	92.1	94.1	94.7
対前年度増減	-	1.7	2.0	0.6
舟入市民病院	24.2	24.5	24.7	24.6
対前年度増減	-	0.3	0.2	▲ 0.1
リハビリテーション病院	18.0	17.8	18.5	18.2
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.7	▲ 0.3
計	288.2	292.2	298.8	295.3
対前年度増減	-	4.0	6.6	▲ 3.5

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/医業収益等)×100

・給与費は退職給付費用を除く。また、本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

・医業収益等は、医業収益(「入院収入」+「外来収入」+「その他医業収入」)に「損益収支への繰入金」を加えたものとしており、事業報告に記載している「給与費対医業収益比率」とは異なっている。

なお2年度は、繰入対象部門に充当した新型コロナウイルス感染症対応に係る空床確保補助金を加算した。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
医師	64.4	65.7	67.4	66.9
対前年度増減	-	1.3	1.7	▲ 0.5
看護師	123.8	126.0	128.4	125.5
対前年度増減	-	2.2	2.4	▲ 2.9
医療技術職	37.6	38.0	38.5	38.3
対前年度増減	-	0.4	0.5	▲ 0.2
事務	9.1	9.4	9.5	9.4
対前年度増減	-	0.3	0.1	▲ 0.1
業務員	0.8	1.0	1.2	1.4
対前年度増減	-	0.2	0.2	0.2
嘱託・臨時	41.8	42.0	43.3	43.6
対前年度増減	-	0.2	1.3	0.3

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
医師	325	327	342	330
対前年度増減	-	2	15	▲ 12
看護師	1,441	1,458	1,500	1,486
対前年度増減	-	17	42	▲ 14
医療技術職	524	526	531	525
対前年度増減	-	2	5	▲ 6
事務	106	114	119	117
対前年度増減	-	8	5	▲ 2
業務員	13	15	20	20
対前年度増減	-	2	5	0
計	2,409	2,440	2,512	2,478
対前年度増減	-	31	72	▲ 34

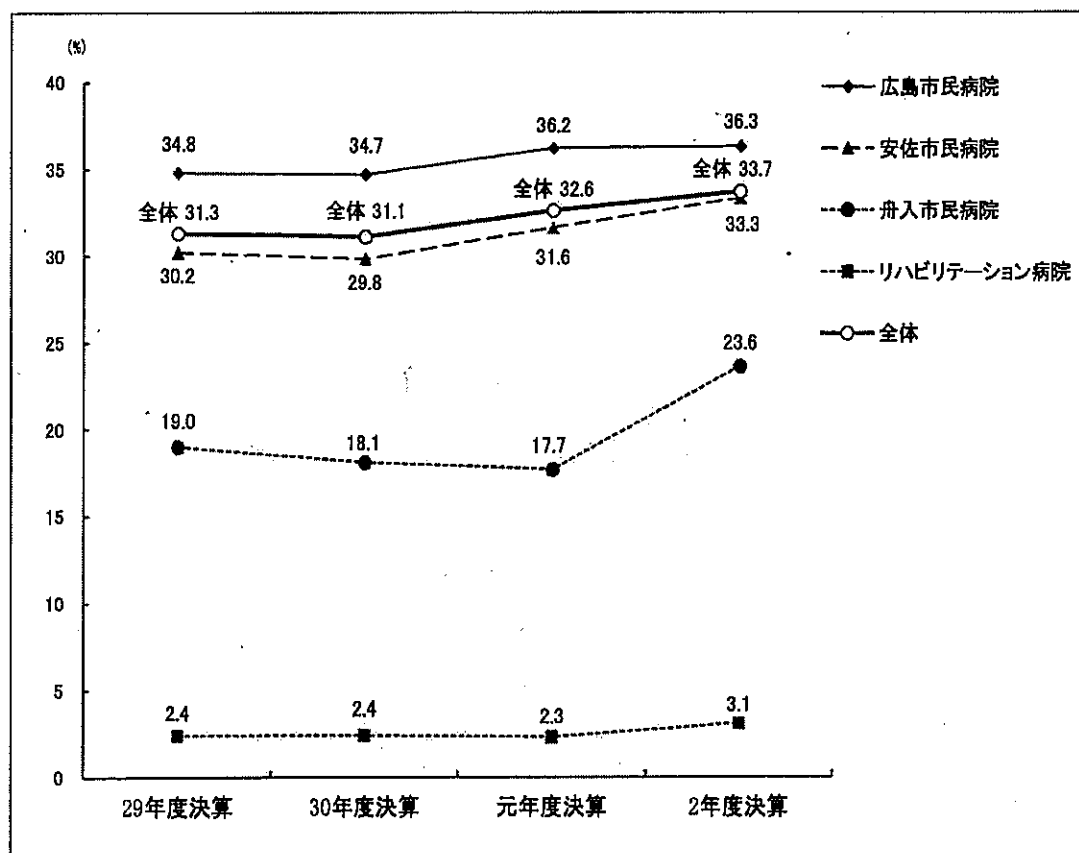
※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	103.8	108.4	116.4	109.7
対前年度増減	-	4.6	8.0	▲ 6.7
安佐市民病院	49.8	50.4	55.7	55.8
対前年度増減	-	0.6	5.3	0.1
舟入市民病院	5.5	5.6	5.3	5.0
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.3	▲ 0.3
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.4	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
計	159.5	164.8	177.8	171.0
対前年度増減	-	5.3	13.0	▲ 6.8

(図2) 材料費対医業収益比率



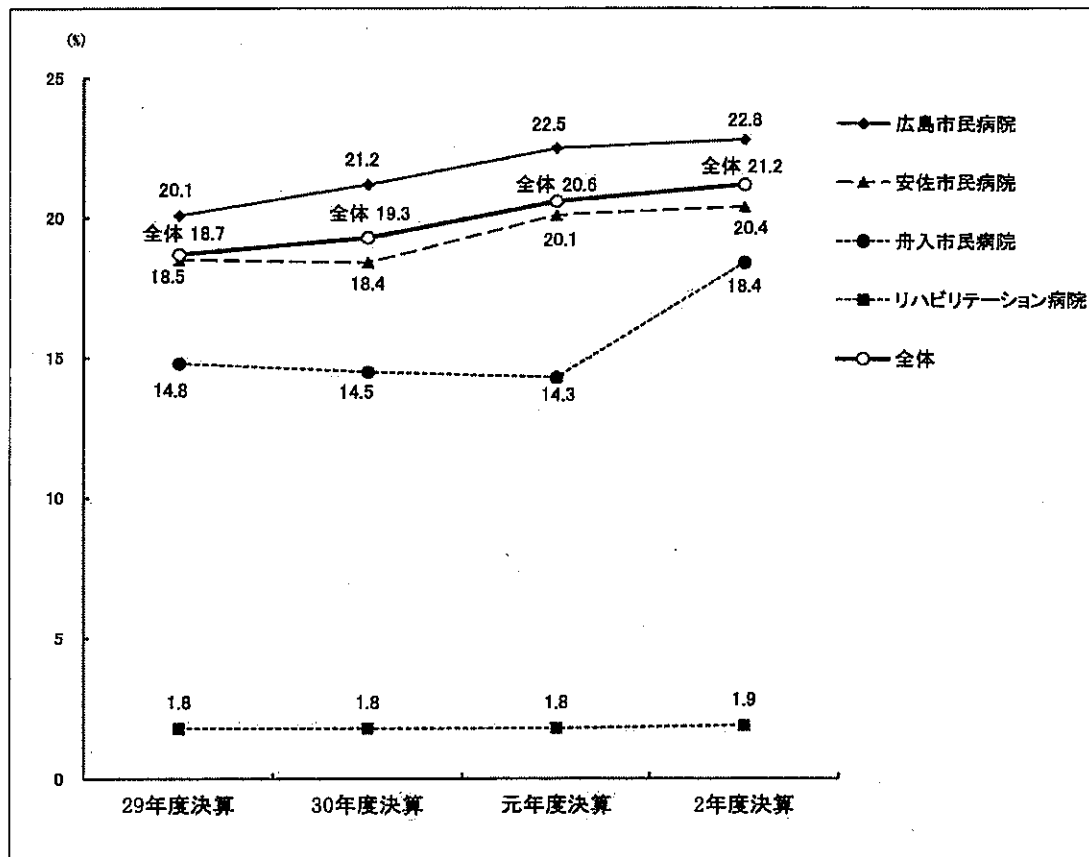
注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	60.0	66.1	72.2	69.1
対前年度増減	-	6.1	6.1	▲ 3.1
安佐市民病院	30.5	31.1	35.4	34.1
対前年度増減	-	0.6	4.3	▲ 1.3
舟入市民病院	4.3	4.5	4.3	3.9
対前年度増減	-	0.2	▲ 0.2	▲ 0.4
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.3	0.3
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	95.1	102.0	112.2	107.4
対前年度増減	-	6.9	10.2	▲ 4.8

(図3) 薬品費対収益比率



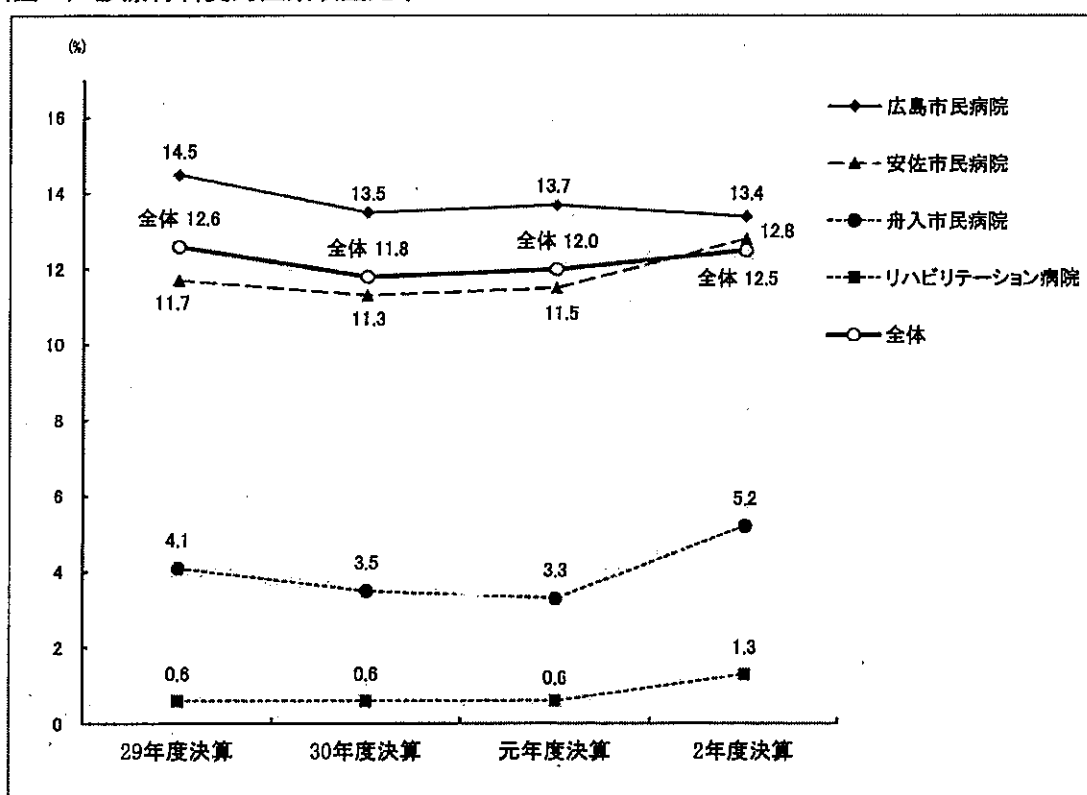
注 薬品費対医療収益比率 = [薬品費 / 医療収益 (入院収入 + 外来収入 + その他医療収入)] × 100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	43.4	42.2	44.1	40.5
対前年度増減	-	▲ 1.2	1.9	▲ 3.6
安佐市民病院	19.3	19.2	20.2	21.5
対前年度増減	-	▲ 0.1	1.0	1.3
舟入市民病院	1.2	1.1	1.0	1.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1
リハビリテーション病院	0.1	0.1	0.1	0.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
計	64.0	62.6	65.4	63.3
対前年度増減	-	▲ 1.4	2.8	▲ 2.1

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率 = [診療材料費 / 医業収益(入院収入 + 外来収入 + その他医業収入)] × 100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。

(表21) 経費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	35.0	36.8	38.2	37.5
対前年度増減	-	1.8	1.4	▲ 0.7
安佐市民病院	20.8	20.2	21.4	21.2
対前年度増減	-	▲ 0.6	1.2	▲ 0.2
舟入市民病院	8.4	8.7	8.7	8.6
対前年度増減	-	0.3	0.0	▲ 0.1
リハビリテーション病院	4.7	4.7	4.9	4.7
対前年度増減	-	0.0	0.2	▲ 0.2
計	68.9	70.4	73.2	72.0
対前年度増減	-	1.5	2.8	▲ 1.2

(表22) 減価償却費

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	24.6	25.6	25.5	23.6
対前年度増減	-	1.0	▲ 0.1	▲ 1.9
安佐市民病院	12.1	11.7	11.2	9.3
対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.9
舟入市民病院	3.5	3.6	3.7	3.2
対前年度増減	-	0.1	0.1	▲ 0.5
リハビリテーション病院	2.2	2.2	2.2	2.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	42.4	43.1	42.6	38.3
対前年度増減	-	0.7	▲ 0.5	▲ 4.3

(表23) その他の支出

ア 費目別

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
資産減耗費	0.2	0.7	0.2	0.3
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.5	0.1
過年度損益修正損	0.5	1.5	1.3	1.0
対前年度増減	-	1.0	▲ 0.2	▲ 0.3
長期借入金・移行前地方債利息	5.8	5.2	4.8	4.5
対前年度増減	-	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.3
その他	1.8	2.0	1.6	1.0
対前年度増減	-	0.2	▲ 0.4	▲ 0.6
計	8.3	9.4	7.9	6.8
対前年度増減	-	1.1	▲ 1.5	▲ 1.1

イ 病院別

単位:億円

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
広島市民病院	5.6	6.2	5.5	4.6
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.7	▲ 0.9
安佐市民病院	0.9	1.5	0.9	0.9
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.6	0.0
舟入市民病院	1.1	1.1	0.9	0.8
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.2	▲ 0.1
リハビリテーション病院	0.7	0.6	0.6	0.5
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1
計	8.3	9.4	7.9	6.8
対前年度増減	-	1.1	▲ 1.5	▲ 1.1